

寺本明寛



- 練習場名：ニッケゴルフ倶楽部京ロセンター
- 年齢：37歳
- 勤務歴：5年
- 役職：ヘッドインストラクター

幼少よりゴルフというスポーツに接してきましたが、ただ負けたくない気持ちだけで朝早くから父親と一緒に練習し、プロの指導も仰ぐようになりました。技術の向上を考え練習することに満足していたのです。しかしゴルフに対する気持ちが変わり始めたきっかけが学生時代の試合にありました。ある試合、同組でプレーした選手のゴルフに対する姿勢や気持、礼儀がただ単に技術を考えていた私と違うことに気づかせてもらったのです。

卒業と同時にプロゴルファーになる夢を諦め一般企業に就職をしましたが、ゴルフから離れられず転職し、スイング診断機を使うスクールの補助業務やショップの販売員を経験しました。そのころゴルフが好きで一生懸命に上達したいと願う多くの人たちと出会い、ゴルフというスポーツを伝えていく仕事に就きたいと思うようになりました。

『1回でも出来れば出来るようになる』という言葉、プロの指導を仰いでいた頃によく聞かされてきました。『専門用語を使わないように』と、スクールの補助業務でスイング診断をする際に注意を受けていました。今になって思えばどちらも現在の仕事であるインストラクションに通じています。上手くなりたいと願い頑張っている方と一緒に悩みを共有し、一緒に一生懸命になり励ましながら進めていかなければ、信頼感や安堵感は生まれません。

また言葉ひとつにしても、これからゴルフを覚え楽しみたいと願う方の気持ちが害わないよう気をくばり、分かりやすい言葉で理解して頂けるまで説明していかなければ安心感や達成感は生まれません。どちらも物事を伝える為に必要な、私の教訓になっている言葉です。

技術だけでなく、ゴルフには礼儀、エチケット・マナーと社会で必要なスキルを身につけなければ、ゴルフ人生において交友関係や社会的にもゴルフを楽しむことに繋がっていきません。レッスンにおいて技術だけ教えていけば良いではなく、エチケット・マナーを重要視し伝えていくことが指導者の立場として必要だと考えます。

ゴルフ業界全体の問題である2015年問題。ゴルファーの減少も第2次ベビーブーム世代、現在のジュニア世代のゴルファー育成に取り組んでいくこと、またその世代のゴルファーが本当にゴルフを楽しむ為に、必要なスキルを身につける通過点としてレッスンが有効に利用される場所であればと思います。

その為に必要な知識・情報を深め、技術に切磋琢磨し努力していきます。